



広報戦略推進事業【広報室会議】

1. 事業概要

国立で唯一の体育大学であることを基軸としたブランド発信を強化することで、今後の本学における教育研究の環境等の充実に結びつける。

2. 事業詳細

①認知度アップ・ブランド強化の取組

- 一体感のある活動を行うための指針として「ビジュアル・アイデンティティ」を策定。本学構成員が一体感のある情報を発信することにより本学のブランディング強化を図った。
- 広報グッズの作成、主体育室にフロアシールを貼付し、来学される方に大学エンブレム等を見ていただく機会を増やした。



左上：ガイドブック表紙
左下：主体育室のフロアシール
右側：名刺、スライドのデザイン

②SNSを活用した広告

- 6月～8月、11月～翌年1月の2回実施
- 6月～8月では15秒動画の配信を中心としたLINE広告及びYouTube広告を実施。
受験生層の再生数が多いことがデータとして上がっている。
- 11月～翌年1月ではLINE広告を実施。大学の概要を紹介する特設ページへの誘導を行った。受験生層は大学紹介ビデオの閲覧数、保護者や大人世代は入試情報の資料請求数が多いことがデータとして上がっている。

年齢別			
年齢	表示回数	視聴回数	視聴率
18～24	417,176	143,300	34.35%
35～44	371,397	109,100	29.38%
45～54	414,104	130,522	31.52%



左：YouTube広告の分析結果（6月～8月）
右：15秒動画のYouTube画面

③NIFS学生広報スタッフによる広報活動

- NIFS学生広報スタッフとして、本学学生4名に委嘱。作成した動画を各種SNSに配信したほか、アドミッションセンターが実施しているTikTokを用いた入試広報への協力を行った。



左上：YouTube
右：TikTok

④その他の広報活動

<鹿屋体育大学未来創成基金の創設>

- 本学の財政基盤の充実強化を図り、学生支援、教育研究活動等の一層の充実を図るための基金を開設する準備を進めた。

※令和5年4月より「鹿屋体育大学未来創成基金」を設立し、寄附活動を行っている。

3. 今後の事業展望

- 第4期中期目標期間の開始、NIFS NEXT 30の策定といった本学の一つの転換期における広報活動は重要であるため、広く伝わる広報として公式Webサイトリニューアル等を実施する。
- 大学構成員一人ひとりが、継続的に統一した「ビジュアル・アイデンティティ」を活用した広報活動の展開を行う。